

2021(令和3)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	農業委員会事務局
役職	事務局長
氏名	東 弘久
2021(令和3)年度の抱負	農村環境を保全し、農地利用の最適化を図る



業績目標の達成状況

5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	農業委員会組織運営の充実 (役員会・研修・調査の充実)	〈現在の状態〉 農業委員会組織の運営が形骸化している。また、最重要課題である農地利用最適化の推進がなされていない地域がある。 ↓ 〈達成目標〉 積極的な情報提供を行うことにより、役員の見識の充実を図り、適切な組織運営を行う。 ※目標が達成した状態 農業委員・農地利用最適化推進委員が職務を効果的・効率的に遂行できる。	全体研修に加え、各地域における課題や分野別課題に対応した研修・調査を行う。
農業委員・農地利用最適化推進委員が職務を効果的・効率的に遂行できる環境を提供する			
◎部局目標2	農地利用状況調査・意向調査の実施	〈現在の状態〉 農地/パトロールによる非農地判断を行った農地がそのまま放置されている。耕作放棄地については、担い手の不足や獣害など今後も耕作される見込みがない。 ↓ 〈達成目標〉 非農地判断した農地のうち、非農地登記されていない農地を把握する。利用意向調査結果をもとに、利用権設定などにより農地の集積を進める。 ※目標が達成した状態 農地基本台帳が整備され、農地利用の最適化が図られる。	・非農地判断された農地の洗い出しと現況確認を行う。 ・農地利用意向調査の結果をもとに、農業委員・推進委員にマッチングデータを示す。
農地利用最適化を推進する			

達成状況 (自己評価)	理由
3	積極的な情報提供により、役員の 見識の充実が図られ、スムーズな 組織運営が図られた。
2	非農地調査については、ほぼ当初 計画通り進めることができた。しか しながら農地利用意向調査の結果 を委員と共有することについては、 調査は終了したが、委員との情報 共有までには至らなかった。